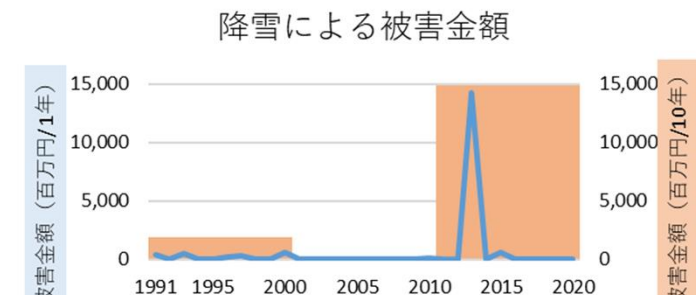
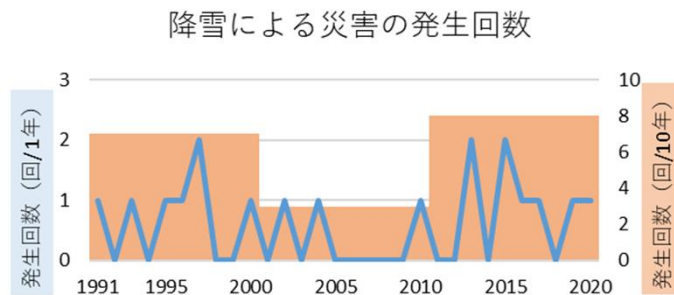
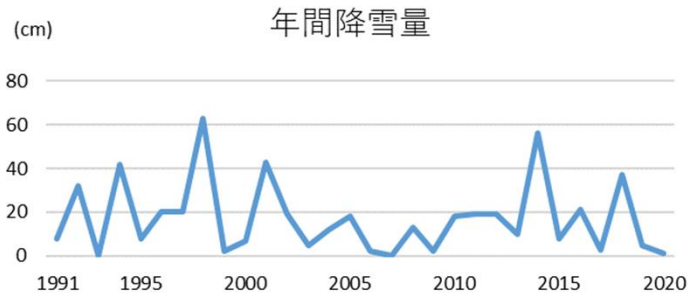


県全域における降雪の発生・被害の傾向

【全体概要】

- （図左）宇都宮における年間降雪量は、過去30年間で平均17cm。年間降雪量に統計的変化傾向はみられない。最も大きいのは、1998年の63cm。
- （図中）降雪による農業気象災害の発生件数は、過去30年間で平均0.6件。10年単位の発生件数は7、3、8件。
- （図右）降雪による被害金額は、過去30年間で平均564百万円。10年単位の金額は1,873、173、14,864百万円。
- 2013年単年で14,287百万円と非常に大きな被害が生じている。



(注) グラフのオレンジ部分は、10年単位 (1991～2000年、2001～2010年、2011～2020年) の合計値

【主な被害品目】

- 過去30年で被害金額の大きい主な品目は、いちご (1,358百万円)、トマト (743百万円)、にら (125百万円)。
- （図左）いちごの災害件数・被害金額は、最高で年間1件、最大の被害金額は2013年の1,206百万円。
- （図中）トマトの災害件数・被害金額は、最高で年間1件、最大の被害金額は2013年の703百万円。
- （図右）にらの災害件数・被害金額は、最高で年間2件、最大の被害金額は2013年の76百万円。
- また、農業用施設における被害金額が大きく、過去30年で13,194百万円。水利施設に被害は生じていない。

